

## ◆戸別収集・有料化説明会 Q&A

平成 26 年 2 月 1 日（土） 午後 7 時から午後 8 時 30 分 場所 鎌倉芸術館

参加者 169 名

- 1 市のごみ処理体制の考え方
- 2 意見公募（パブリックコメント）の結果
- 3 有料化の具体的な内容
- 4 質疑

**Q 現在のクリーンステーション収集は今までの知恵の蓄積だと考えています。戸別収集で減量するというのはどのようなデータから判断していますか。**

A 七里ガ浜、鎌倉山、山ノ内の 3 地区で行ったモデル事業の結果の紹介になりますが、1 割減ったというデータがあります。また、町内の一部で試験的に導入している葉山町では、可燃ごみが 1 割以上減量したという結果が出ています。

**Q 戸別収集になった場合、作業員が増え、費用が増加すると思われませんが、そのことについて説明して下さい。**

A 現在のクリーンステーション収集から戸別収集に切り替えると、約 4 億 4 千万円の経費増を見込んでいます。

**Q 戸別収集になると、排気ガスが増加すると思いますが、その数値は算出していますか。**

A 車両台数は車種によりますが、週当たり 50 台程度増える見込みです。排出される CO<sub>2</sub> については試算していません。

**Q 戸別収集では、各家庭でのガラス被害対応はどうするのですか。**

A 排出用のポリバケツ等の容器や箱に入れてごみを出していただくことで、対策を取れると考えています。

**Q 平成 27 年 3 月に今泉が焼却停止になるのはなぜですか。**

A 施設の老朽化も原因としてありますが、以前、ごみ半減計画によりごみを減らすことで今泉クリーンセンターの焼却を停止し名越クリーンセンター 1 カ所での焼却をしていく方向性を打ち出したものの、法律が変わり、定められた期間までに施設のダイオキシン削減対策改修工事をしなければ焼却を継続できなくなったことから、ごみ半減計画の前倒しを行いました。

しかしながら、計画がうまくいかずに、今泉でも改修工事を行った上で、焼却を継続することが必要となりました。周辺住民の方々には、当初停止するとお伝えしていたクリーンセンターの継続稼働を改めてお願いすることとなったため、期間を定めることとなりました。その期間が協定で概ね 10 年となっており、平成 27 年 3 月がその期限となっています。

**Q ごみ出しを毎日していますが、特定の日回収されないごみがあります。それが何だか分かりますか。燃えないごみです。出し方が非常に分かりづらいので、もっと住民の立場に立って考えて下さい。**

A 品目が違うもの、分別がされていないものについてはシールを貼って置いていくようにしています。なお、有料化に伴い分別案内冊子を刷新する予定です。

**Q 9 月議会で可決された「家庭系ごみの戸別収集・有料化全市実施の計画を見合わせることを求めることに関する決議」について紹介すべきだと思います。**

A 9月議会で可決された決議は、将来焼却するものの内容と今後の資源化の内容が定まらない中ではまだ戸別収集・有料化の実施を見合わせるべきだという内容でした。この決議についても重く受け止め、その後の市長選挙やパブリックコメントの結果を踏まえた上で、有料化を先行実施することについて2月議会への上程を行うこととしました。

Q 国は大量に燃やしてエネルギー回収できる施設を推進しているようですが、分別、資源化の努力を市民にさせておいて、結局分別したのもも大量に投入してエネルギー回収をするというような矛盾した方向に進まないか改めて確認します。

A 何でもかんでも燃やしてしまうような大量のごみを必要とする焼却施設は考えていません。出来るだけ、減量・資源化をして、燃やすごみを減量した上で、最適な規模の発電の機能を持った焼却施設を建設したいと考えています。

Q 戸別収集というこのような大規模の公共事業を外部に委託するという事は、職員の天引き先への融通ではないでしょうか。

A 平成21年までは、外部に職員を斡旋していたことを確認していますが、現在は一切そのようなことはありません。希望する団体等が独自に退職する職員を採用することはあるかもしれませんが、融通ということは一切ありません。

Q 野村総合研究所跡地に焼却場は作らないのですか。早い時期から将来ビジョンを示すべきです。

A 私の政策集では、野村総合研究所跡地については、別の目的で考えていますが、最大の問題を解決するための一つの候補地として考えているところではあります。

Q 七里ガ浜、鎌倉山、山ノ内の3地区でモデル事業を実施したとのことですが、3地区全て山の中というのはおかしいのではないのでしょうか。町の中もモデル地区とすべきで、市の都合を優先させたのではないのでしょうか。

A 七里ガ浜は住宅地区、鎌倉山は山間の地区、山ノ内は商店も多いことから商店と住宅が混在する地区としてバランスを考慮して選定しました。

Q ごみの収集と処理に要する経費32億円と有料化の収入の関係はどうなりますか。また、有料化の収入試算はいくらでしょうか。

A 平成26年度の指定収集袋による歳入は約1億8,000万円を試算しています。有料化すればごみは減り歳入も減りますが、ごみが減れば32億円のごみ処理の経費は圧縮されると考えています。

Q 資料の7ページから8ページについてですが、一人当たりの排出量は平塚市と鎌倉市でほぼ同じなのに、一人あたりの金額は鎌倉市がこんなに高いのはどのような原因と分析していますか。

A 理由としては3つあると考えています。分別種類が20あるということで、種類が多ければ、分けて収集するので収集コストは高くなります。また、最終処分にかかる経費も高くなっています。さらに、これはリサイクル率が高いことにも寄与しているのですが、資源化するのにも費用がかかっています。これらのことから、金額が高くなっていると考えます。

Q 有料化で意識を変えて、市民の住んでいるところの庭の地べたにごみを埋めてくれと言われてるように感じます。

A 地べたに埋めて下さいと言ったことは無いと認識しています。燃やすごみのうち各家庭で唯一減量出来るのが生ごみであるため、使い勝手のよい生ごみ処理機があれば使用いた

だきたいと考えています。

Q お金を使った意識づけは納得がいかないのです。例えば、コンビニなどでコーヒーを買えばごみはかなり出てしまいます。このことを市長はどのように考えていますか。

A 出来るだけごみの出るようなものは購入して欲しくないと思います。自治・町内会のお祭りでもリユース食器を使用させていただきごみを減らしていただいています。過剰包装のため、購入してしまうとごみが増えてしまうものを製造している事業者が製造者責任を負ってもらえるように、国に対して意見を上げています。

Q 市内の自治・町内会については、戸別収集はもちろんですが、有料化についてもほとんど反対なのではないでしょうか。6割近くが賛成しているという根拠はどのようなものでしょうか。

A 意見公募を行った結果、141 件のご意見のうち6割近くが有料化に肯定的な意見であったと申し上げました。説明会の中でも戸別収集に対しては本当に多くのご意見をいただきました。

Q 私は今泉台に住んでいますが、今泉との約束を市は強調されるが、そのような約束を私は知りません。

A 知っている知っていないという状況は当然有り得ると思いますが、事実としてしっかり記録として残しています。決して、自治・町内会長さんとだけ話して決めたものではありません。その点をご認識いただきたいと思います。

#### 【ご意見】

- ・ 戸別収集は私自身の家ではごみを置くスペースがないため、無理と考えています。また、車両が増えることにより、交通事故や健康被害が増えることを懸念しています。
- ・ バザー終了後に出てしまうような燃やすごみは無料にした方が良いと思います。
- ・ 有料化は税の二重取りだと考えます。
- ・ 戸別収集で空のポリバケツを出した状態にしていると留守というのが分かっしまい防犯上良くないと思います。
- ・ 燃やすごみの分別が悪いということであれば、それを分別する人を置いた時の経費を試算してみてもどうでしょうか。
- ・ 他市への焼却依頼が1億 500 万円で、出来るのであれば、各家庭から一カ月あたり 150 円程度の協力金を徴収して、その費用に充てればよいと思います。一カ月あたり 500 円というのは本当に市民負担を考慮しているのでしょうか。半減できれば半額にするなど、そういった対応も考えて欲しいです。
- ・ 目黒区の戸別収集を見たが、既に問題があつて解決している自治体の事例は沢山あるので、それを研究してほしい。

